

おしえて!



2017/11/27 No.10

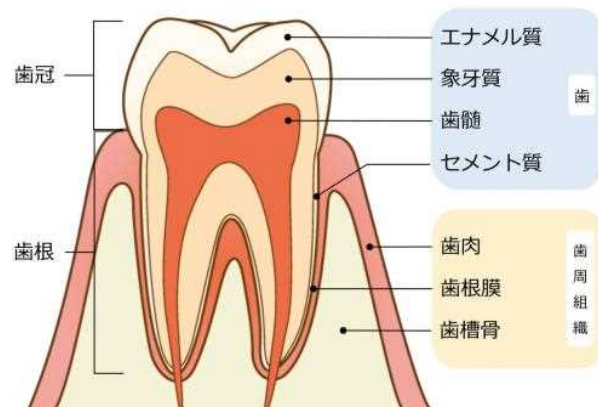
## 歯のいろいろな疑問♪

### 〈 歯周病とは“アゴが腐る”感染症! 〉

歯周病とは歯垢中の細菌が原因となり歯肉が腫れたり、歯を支えている歯周組織が破壊されてしまう病気です。歯周病が進行すると歯槽骨（歯を支えている顎の骨）がどんどん溶けてしまい、最終的には歯が抜け落ちたり、ひどい時には下顎が骨折してしまうこともあります。

1歳以上のわんちゃん、ねこちゃんの95%が歯に病気があると言われておりますのでおうちでのデンタルケアが大事になってきます。

歯の構造



### 1、 ガーゼで磨いていけば大丈夫?

食事をすると歯と歯肉の間(歯周ポケット)に歯垢がたまります。表面だけならばガーゼで擦ればとれますが、歯周ポケットの歯垢をとるには不十分です。歯石になる前の歯垢をしっかりと歯周ポケットの中からかき出すためには**歯ブラシ**が必要となってきます。

その一方で、ご家庭で歯ブラシが苦手なわんちゃん、ねこちゃんにはガーゼで表面の歯垢を拭いていただくことが大切になります。



### 2、 市販のデンタルグッズをあげていけば歯みがきは必要ないの?

デンタルグッズの多くは“歯の上の汚れ”を取るものであり、歯の見える部分の歯垢歯石を除去できるものです。しかしながら、歯周ポケットの中の歯垢歯石を除去できるものは歯ブラシによるブラッシング以外ありません。ですのでデンタルグッズは歯周病になっていない状態の時に補助として活用はできますが、単独では効果が低くなります。

### 3、 骨やひづめなどの硬いものをあげてもいいの?

ハサミで切れないものは基本的に与えてはいけないとされています。骨、ひづめ、硬い皮、硬い素材でできたおもちゃ、おやつなどで歯を折ってしまう可能性が高いためです。歯をきれいにする効果よりも歯が折れてしまう危険度の方が高いため、あげるべきではありません。

#### 4、 歯が折れても痛がらないから大丈夫？

歯を折って神経血管が露出した場合は、わんちゃん・ねこちゃんが痛いと言わないだけで痛みを感じています。折れた歯を放置すると、その折れた部分から菌が歯髄内に入り込み、歯髄が腐り、やがては歯根の先端部まで腐り、外側の顎の骨まで腐ってきます。さらには口の中や目の下などの皮膚に膿が出てくるので動物病院での早期の治療が必要となります。



#### 5、 乳歯は放っておけば抜ける？

乳歯から永久歯への抜け替わりは、生後4～6ヶ月半の間に徐々に抜け替わってきます。乳歯が抜けないと、永久歯は本来の場所に生えることが出来ず、間違った場所に生えることになり不正咬合(悪い歯並び)となります。もし乳歯が残っているようならば抜歯を行うのが適切です。

#### 6、 歯を抜いたら食べられない？

歯を抜いたら食べられなくなっている方は多いですが、抜歯後2～3週間だけは柔らかい食事にして、その後はドライフードなどの元の食事に戻すことができます。

重度の歯周病となると歯やその周囲組織の病気と痛みがずっと続いてしまいます。その原因の歯を抜くことで歯周病の痛みや辛さから解放してあげることになり、口の中が快適になります。

#### 7、 無麻酔での歯石除去がいい？

最近よくご家族の方に「麻酔なしで歯石は取れますか？」と質問をされますが、無麻酔での歯石除去は歯や歯の周囲を傷つけるため大変危険な行為です。

また無麻酔の場合、歯の見える部分の歯石だけは取れるかもしれませんが、歯と歯の間や歯周ポケットの中の歯石は取れません。そして無麻酔の状態痛いことを無理矢理行うこととなるため、わんちゃん、ねこちゃんに痛い思いをさせるだけではなく恐怖心を与えることとなります。そうすると日常で口を触られるのを嫌がるようになり、歯のチェックや歯みがきと家でのデンタルケアも難しくなります。

写真：麻酔をかけての歯石除去



① 軽度の歯石

② 中度の歯石

③ 重度の歯石

☆歯石除去後☆

